opusdei.org

黙想:聖マリアのみ 名(9月12日)

黙想のテーマ:「親しみ深い母・マリア」「苦難の最中の希望」「私たちをイエスに導くマリア」

2025/09/12

親しみ深い母・マリア

苦難の最中の希望

私たちをイエスに導くマリア

エリザベトは、懐妊中に従妹の訪問 を受けてどんなに驚いたことでしょ う。「あなたは女の中で祝福された 方です。胎内のお子さまも祝福され ています | とエリザベトは言いまし た。「わたしの主のお母さまがわた しのところに来てくださるとは、ど ういうわけでしょう | (ルカ1・ 41-43)。マリアの訪れは、ザカリア 夫人を喜びでいっぱいにしました。 数カ月前に、子供ができる嬉しい知 らせを受けたばかりでした。主は、 今、この特別な期間にいる彼女に従 妹を送り、新たな恩恵をお与えに なったのです。

聖エリザベトのこの驚嘆は、主のものでもあるマリアの親しみ深さを見出した時の、キリスト信者の人生で繰り返されています。イエス・キリストは、御母の胎内を通ってこの世にお出でになりました。そして、従姉になさったように、聖母が先に私たちとの出会いに出て来られたので

す。マリアのみ名の祝日は、聞き入れてもらえると確信して呼びかける ことのできる、慈悲深い母の姿を私 たちに思い起こさせてくれます。

「マリアが教えるのは、神愛の情、信頼、安心感です。だからこそ、マリアの名を耳にするだけで、心がいっぱいになるのです」 [1]。

私たちの信仰・希望はイエスの御母 のみ名を唱える時、燃え立ちます。 聖母に向かうのは何と易しいことで しょう。子として呼びかけたらいい のですから。聖ホセマリアが繰り返 していました。「甘美なみ名の聖母 にどのように接すべきかを知ろうと 思えば、生みの母と私たちの間柄に 思いをはせればよいでしょう。心は ひとつきりですから、親を愛し、兄 弟や家族、友人を愛する心で神を愛 さなければなりませんし、その同じ 心で聖母とも接しなければならない のですしほ

「あなたの挨拶のお声を私が耳にし たとき、胎内の子は喜んでおどりま した | (ルカ1・44)。マリアの言葉 で、母の胎内のヨハネは動かされた のです。息子の喜びで、聖エリザベ トは聖母がイスラエルの希望をもた らしてくれたことを悟りました。そ れゆえ、彼女に対して惜しみない替 辞を述べたのです。「あなたは女の 中で祝福された方です。胎内のお子 さまも祝福されています。 (…) 主 がおっしゃったことは必ず実現する と信じた方は、なんと幸いでしょ うし(ルカ1・42、45)。

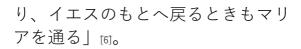
聖エリザベトと同じように私たちも 聖母をたたえることができます。と いうのも、聖母が神にすべてを委ね られたことで、この世に平和がもた らされたのですから。これは、私た ちの日々の戦いを希望で満たしてく れます。事実、多くの聖人たちが、 時々、生活が、自分の弱さによって 荒れ狂う海のように思えても、心配 することはありません。聖マリアに お願いすると、安心させてください ます。「西洋では"マリア"という名 前を"海の星"と呼ぶ伝統がありま す。それは、次のような体験を表し ています。何と度々、生活を揺るが すような荒波で人生が暗い海のよう に思え、夜明けが来ないように思え る時があったことでしょう。(…)し ばしば、死と悪にうち勝ったイエ ス・キリストという偉大な光を、遠 くから垣間見るだけです。そんな時 には、マリアが『主のはしためで す』と言った時に輝きだした光を思 い起こし観想することです。すると、聖母から生じる明確な善の光が見出されます | [4]。

聖母は、聖エリザベトの賛辞を受け取ります。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます」(ルカ1・46-47)。聖マリアへの真の信心によって、私るマリアへの真の信心にあの源である。聖母が「今からは、向かいます。聖母が「今からでも、からでしょう」(ルカ1・48)とな者と言うでしょう」(ルカ1・48)と叫ばれたのは、その生活が主の現存の下に織り成されていたからです。

マリアは、キリスト信者の祈りの中で「特別な位置を占めています。イエスの御母でいらっしゃるのですから。東方教会では、度々、Odighitria "道を示す"、つまり御子イエス・キリストに導く方として紹介されてい

ます。(…) キリスト教の聖画には、 あらゆる場面での姿が、時には偉大 な主人公として表されていまりいるも、御子として表わしいつも、存在として示さりにおける存在として、その目、ます。そりに中心である、はいつも根本います。マリスを示唆していますー

[5]_o



- <u>[1]</u> 聖ホセマリア『知識の香』142 番。
- [2] 同。
- [3] 聖ベルナルド、「おとめマリア の素晴らしさについて」2,17。
- [4] ベネディクト十六世、説教、 2009年9月12日。
- [<u>5]</u> フランシスコ、一般謁見演説、 2021年3月24日。
- [6] 聖ホセマリア『道』495番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/mokusou-sei-maria-mina/(2025/11/20)